

令和5年6月1日

第101回安来市議会定例会 6月定例会議

# 市長所信表明

安来市

第101回安来市議会定例会6月定例会議の開議に当たり、諸議案の説明に先立ちまして、最近の市政の主な動きと所信の一端を申し述べます。

はじめに、東京安来会についてであります。

コロナ禍により、令和2年から令和4年までの間、開催を中止しておられました東京安来会総会が5月13日に4年ぶりに開催され、佐々木副議長とともに出席してまいりました。

参加された約40人の安来市出身者の皆様に、安来市の写真をご覧いただきながら近況報告を行い、会員の皆様から、ふるさと安来に対する熱い思いを聞かせていただいたところです。

今後も、都会にお住まいの安来市出身者の皆様に積極的な情報発信を行い、こうした繋がりを大切にしながら、関係人口の拡大を図っていきたいと考えております。

次に、やすぎ暮らしセミナーについてであります。

5月14日に東京にて移住希望者の方を対象に「やすぎ暮らしセミナー」を開催し、職員とともに安来市のPRを行ってまいりました。

これまでも島根県などが開催する移住相談会に他自治体と一緒に参加することはありましたが、この度初めて、安来市が主体となり、単独自治体として開催したもので、限られた時間ではありましたが、約20名の参加者の方に移住者の体験談なども交えながら、安来市の魅力を大いに伝えることができました。

今後もこうした取組を継続して行い、定住支援制度等の充実を図りながら、移住者の増加を図っていきたいと考えております。

次に、韓国密陽市との姉妹都市交流についてであります。

韓国密陽市で開催される密陽アリラン大祝祭への招待を受け、永田議長、石倉議員にもご同行いただき、5月18日から20日までの3日間の日程で密陽市を訪問し、温かい歓迎を受ける中、親睦を深めてきたところです。

コロナ禍が明け、日韓関係も改善に向かっており、こうした機運の中で今後、教育、文化、産業経済の各分野を中心に交流を進め、夏休みを利用した学生の相互訪問など、中断しておりました様々な相互交流を再開していきたいと考えております。

今回提案いたします案件は、一般会計補正予算を含む議決案件7件、報告案件2件、同意案件1件であります。

補正予算の主な事業でございますが、令和4年3月に島根県立大学、安来商工会議所、安来市商工会と安来市の4者で締結しました包括連携協定に基づく取組の一環として、「やすぎ懐古館一風亭」の次世代に向けた活用について検討する、島根県立大学の学生によるインターンシップ事業を進めてまいります。

また、地域活性化に向けた事業を実施したい団体と、企業版ふるさと納税により、その事業を応援したい企業を市がつなぐ、やすぎ創生

応援事業を実施いたします。このほか、「比田のプールを守る会」がクラウドファンディングを活用して資金調達をされ、安来市にいただきました寄附金を財源とした、広瀬勤労者体育センターのプールの修繕工事を実施してまいります。

なお、令和4年度一般会計並びに特別会計の出納閉鎖を行いました。そのうち一般会計の繰越額の状況につきましては、繰越明許に伴う一般財源を除き、7億3千万円余となりましたのでご報告申し上げます。今後、監査を受けた後に、決算審議をお願いすることになりますので、よろしくお願いたします。

諸議案の詳細については、担当職員から説明をさせていただきます。何卒、よろしくご審議いただきますよう、お願い申し上げます。